

地域避難所

番号	名称	所在地
①	岡野老人憩の家	岡野 1 8 6
②	金井島公民館	金井島 9 4
③	上延沢自治会館	延沢 1 5 4 8
④	円中自治会館	中之名 3 8 4
⑤	宮台老人憩の家	宮台 1 3 4

※避難所の開設については、町からの情報【防災無線等】に注意してください。

地域避難所(浸水災害時使用不可)

番号	名称	所在地
①	下延沢自治会館	延沢 6 5 2-1
②	牛島自治会館	牛島 3 5 9
③	上島公民館	吉田島 2 4 7 0
④	河原町公会堂	吉田島 2 6 4 5
⑤	榎本公会堂	吉田島 3 2 3 1
⑥	中家村公民館	吉田島 1 6 6 5
⑦	下島自治会館	吉田島 1 6 1 0-1
⑧	パレットガーデン自治会館	吉田島 4 3 1 9-1
⑨	みなみ自治会館	みなみ 2-6-1

浸水災害発生時は浸水想定区域内のため避難できません。

要援護者用拠点施設

番号	名称	所在地
①	開成町福祉会館	吉田島 1 0 4 3-1

要援護者など避難所での共同生活に支障のある方の避難所です。

浸水災害発生時一時避難場所

番号	名称	所在地
①	パナック工業(株)開成工場	吉田島 4 3 0 1
②	富士フィルム(株)先進研究所	牛島 5 7 7
③	足柄上合同庁舎	吉田島 2 4 8 9-2
④	トルク工業(株)開成工場	金井島 1 3 0-1
⑤	エース物流サービス(株)小田原センター	金井島 9 9 0
⑥	南開工業(株)宮台事業所	宮台 6 4 6
⑦	大長寺(慈光殿)	吉田島 3 0 2 0

大規模な浸水被害が発生した場合に地域避難所及び広域避難所に避難する時間的・地理的余裕が無い場合に一時的に避難する場所です。

洪水の種類と起こり方

洪水には大きく分けて「外水氾濫」と「内水氾濫」があります。

外水氾濫

- 降った雨がその場に溜まる。
- 堤防から水が溢れ出す。
- 堤防が決壊する。

内水氾濫

- 下水道の排水能力を超える雨が降る。
- 排水先の河川の水位が高くて排水できない。

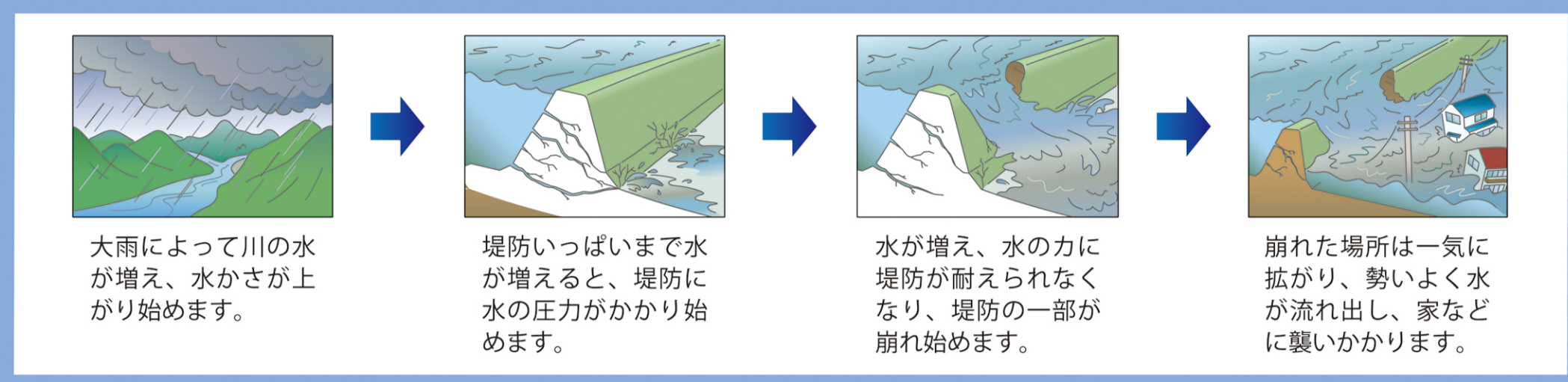
このハザードマップはこちら

広域避難所

番号	名称	所在地
①	開成幼稚園	牛島 3 3 6
②	文命中学校	吉田島 1 8 0 5
③	開成小学校	延沢 6 2 5
④	開成南小学校	みなみ 2-2-1
⑤	県立吉田島高校	吉田島 2 8 1

地域避難所が浸水してしまう可能性のある地域の方を収容する避難所です。

水害発生のメカニズム(外水氾濫)



避難情報の伝達方法

「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」などの情報は、下図のような方法で住民の皆さんに伝達されます。情報をどのように入手するか確認しておきましょう。

- テレビ・ラジオ
- 防災行政無線・広報車
- 開成町ホームページ・神奈川県雨量水位情報・気象庁ホームページ・緊急速報メール・Facebook等
- スマートフォン・携帯電話
- パトカー・消防車

防災行政無線音声自動応答サービス 0120-173-178 ※24時間以内に防災行政無線を通して放送した内容を電話で確認できます。

情報の収集

日頃から気象情報や河川の水位情報に注意しましょう。テレビ、ラジオ、新聞やインターネットなどから様々な情報を入手しましょう。また、住民の皆さんから町へも情報提供をお願いします。

防災行政無線テレホンサービス

防災無線で放送された内容を電話にて確認することができます。「放送が聞こえない」「聞き取りにくい」際に内容を確認できます。

0120-173-178 24時間

※防災無線のチャイムが鳴ったら、窓を開けるなどして避難情報に注意してください。

災害用伝言ダイヤル

風水害や地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

NTT災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

メッセージの録音

171→1→市外局番から電話番号→メッセージの録音

メッセージを聞く

171→2→市外局番から電話番号→メッセージの再生

開成町あんしんメール

防災・防災など、町からの情報をスマートフォン、携帯電話にいち早く配信します。

○配信情報

防災気象情報、不審者・振り込み詐欺情報、行方不明者情報など

QRコード

Yahoo!防災速報

ヤフー株式会社が提供する、緊急地震速報や豪雨予測などをお知らせするサービスです。また開成町では、アプリを通して災害時に緊急情報を配信予定です。

スマートフォンで利用できるアプリ版(Android、iOS両対応)と、携帯電話やパソコンにメールでお知らせするメール版があります。

QRコード

気象情報

気象庁が発表する注意報・警報

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を、数十年に一度の大雨などが予想される場合に「特別警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

種類	発表基準
大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあるとき。表面雨量指数基準 18 土壌雨量指数基準 130
洪水注意報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害のおそれがあるとき。流域雨量指数基準 仙了川流域 2.6、要定川流域 4.6
大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあるとき。大雨警報(浸水害)、大雨警報(土砂災害)と発表されます。表面雨量指数基準 25 土壌雨量指数基準 一
洪水警報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害のおそれがあるとき。流域雨量指数基準 仙了川流域 3.2、要定川流域 5.7
大雨特別警報	台風や集中豪雨等により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されるとき。大雨特別警報が発表された場合、重大な災害が発生するおそれがあるとき。直ちに命を守る行動をとってください。
記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、または解析したとき。現在の降雨量がその地域にとって土砂災害や浸水害等の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であるとき。1時間雨量 100mm

※開成町は「足柄上」地域となります。
※土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかを気象庁が指数化したものです。
※流域雨量指数とは、河川の流域に降った雨水が、どれだけ下流の地域に影響を与えるかを気象庁が指数化したものです。

雨の強さと降り方

雨の降り方でたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるように、降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

雨の強さ	降り方
やや強い雨	1時間に10~20mmの雨
強い雨	1時間に20~30mmの雨
激しい雨	1時間に30~50mmの雨
非常に激しい雨	1時間に50~80mmの雨
猛烈な雨	1時間以上の80mm以上の雨

避難情報について

避難情報は3段階あります。情報は防災行政無線・テレビ・ラジオ・ホームページなどでお知らせします。避難情報が発表されたら下記のような行動をとります。

避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
河川水位が「 氾濫注意水位 」に達し、さらに水位が上昇するおそれがある場合などに発令されます。	河川水位が「 避難判断水位 」に達し、さらに水位が上昇するおそれがある場合などに発令されます。	河川水位が堤防高に到達するおそれがある場合や、堤防決壊による氾濫が発生した場合、記録的短時間大雨情報または大雨特別警報が発表された場合などに発令されます。
非常用持ち出し品を持って避難しましょう。避難に時間のかかる人などは、避難行動が困難になる前に早めに避難を開始しましょう。	避難場所へ避難する場合は、河川のそばなど危険な場所は通らないようにしましょう。	すでに災害が発生しているか、人的被害の危険性が極めて高い状況です。直ちに安全な場所に避難を完了させてください。外出することのでかえて命に危険が及ぶ場合は、建物の2階に避難するなど、 直ちに命を守る行動 をしてください。

避難情報等発令の指針となる基準水位の例



浸水継続時間表示図、浸水継続時間が長い区域についての解説

この図は、酒匂川水系酒匂川の洪水予報区間と酒匂川水系4河川(仙了川・要定川・洞川・狩川)の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

この浸水継続時間は、現時点の酒匂川と酒匂川水系4河川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により酒匂川と酒匂川水系4河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

●想定し得る最大規模の降雨

- 酒匂川: 日総雨量530mm
- 仙了川: 日総雨量344mm
- 要定川: 日総雨量336mm
- 洞川: 日総雨量340mm
- 狩川: 日総雨量364mm

※避難所への避難を行わずに浸水継続時間が長期化したときには、水や食料がなくなる、衛生環境が悪化する、電気・ガス・水道が止まるなどの問題が発生する可能性があります。また、エレベーターが止まる、孤立するなどの問題も発生する可能性があります。

要配慮者のために

高齢者、障がい者、傷病者や乳幼児などは、災害発生時に自らを守るための迅速・的確な行動がとりにくいことから「要配慮者」といいます。これらの方を災害から守るため、地域で協力して手助けしましょう。また、避難する際に支援が必要な方も、地域へ積極的に働きかけることが大切です。近所の方といざという時の避難場所や救済方法について相談しておきましょう。

- 高齢者・寝たきりの方のために**
 - 緊急時は、おぶって安全な場所まで避難する。
 - 複数の介助者で対応する。
 - 不安を取り除くよう声をかける。
- 車いすをご利用の方のために**
 - 階段では、2人以上で協力し、上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
 - 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。
- 目の不自由な方のために**
 - 緊急時は、声をかけ、情報を伝える。
 - 誘導する場合には、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- 耳の不自由な方のために**
 - 話すときは、口をハッキリ開け、相手にわかりやすいようにする。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

目ごころからの備え

- 危険箇所の確認**
自宅の付近や、よく通る場所の近くなどに危険箇所がないか確認しておきましょう。
- 避難経路の確認**
自宅の近くの避難所の位置や、安全に通行できる避難経路を確認しましょう。確認したら地図に記入しておくといでしょう。
- 事前の台風対策**
アンテナなどテレビのアンテナ、看板などはしっかり料金等で固定しておきましょう。
植木鉢などベランダや家のまわりにある植木鉢や物置など、風取の危険があるものは、撤去しましょう。
建物の応急処理屋根のひび、割れ、はがれや外壁、アコーディオンの破損の応急修理をしましょう。
雨どい落葉、土砂のつりなどを取り除き、排水をスムーズに流すようにしましょう。
雨戸・シャッター破損、破り、かたまり、ゆるみの応急修理をしましょう。
倒溝家のまわりの下水溝や側溝のゴミやドコを取り除き、水をよく流すようにしましょう。
車庫・小屋の屋根・側壁高圧によるタンク線の飛散、大雨による屋根剥離防止のため、止め金具等をチェックしましょう。
- 連絡先の確認**
緊急時の家族の連絡先や、連絡方法をあらかじめ決めておきましょう。家族がはぐれた場合の集合場所の確認もしておきましょう。
- 非常持出品の準備**
避難時にすばやく避難できるように、必要な持出品を準備しておきましょう。非常食は賞味期限の確認もしておきましょう。

避難行動について

命を守るためにとる以下の行動を避難行動としています。降雨の状況、また夜間など外に出ることが危険な場合もあります。状況に応じた避難行動をとります。

- 最寄の避難所への避難(広域避難所又は浸水しない地域避難所、要援護者用拠点施設への避難。)
- 近隣のより安全な場所、建物等への避難(浸水災害発生時一時避難場所への避難。)
- 屋内安全確保(その時点で居る建物内において、より安全な部屋への移動。)

避難時の心得

- 安全な避難を**
お互いに助け合って、安全な場所へ安全な経路で速やかに避難を始めましょう。
- 要配慮者の避難にご協力を**
高齢者、障がいのある方・病気がやがてしている方などは早めの避難が必要で、隣近所の要配慮者の避難にご協力ください。
- 動きやすい服装、二人以上での避難**
避難するときは、動きやすい服装をし、近隣の方などで声をかけ合って避難しましょう。また、水面下では道路や側溝などの境目がわかりにくいので、杖などで安全を確認しながら歩きましょう。
- 危険な場所には近づかない**
日頃からどこが危険か、安全な場所はどこか、確認しておきましょう。外出する際には、危険な場所には近づかないようにしましょう。